

東田利町報

No.245 昭和51年12月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



No 245

12 / 1

〈みんな元気だぞ〉

さあ、冬本番。寒くなると私たちはともすると、暖房のきいた部屋にだけこもって運動不足になりがちですが、それは、からだの抵抗力を弱め病気を誘発させる原因にもなっています。

これからは日照時間が極めて短かいので、天気の良い日など子どもはできるだけ外で遊ばせるようにし、外から帰ったときのウガイなどは、大人がまず手本になりたいものです。

ここ永慶保育園では、90人の園児たちが「寒さなんか吹っとばせ」とばかりに、みんな元気に遊んでいました。

除雪対策に万全な計画

冬將軍の到来も間近。

半年近くの間、雪に閉ざされる本町にとって、厳しく長い季節がいよいよやってきます。

町における冬期間の道路交通計画は、そのまま除雪計画でもあります。

降雪量の多い本町では、冬期間の交通路の確保は、私たちの生活や地域の産業や経済の活動に大きな影響をおよぼす、欠くことのできない課題であるだけでなく、万一の災害に対しても的確で、かつ迅速的な除雪態勢が要求されているところです。

町では、今年度の除雪費に九百四十万円（当初予算で）を計上し、積雪による交通の途絶や混乱を防ぐため、万全の除雪態勢でのぞみます。

除雪は、下記の計画図にみるように、国道をはじめとする県委託路線、A種路線、B種路線C種路線の四ランクに分類して計画され、オペレーター（運転



手)十名、ブルドーザー四台、ローダー二台、ロータリー一台、雪上車一台、ドーザー一台、グレーダー一台、ダンブトラック一台を配しのぞむことにしています。

降雪のあった日は、午前三時から県委託路線及びA種路線の

除雪作業にあたり、これを午前七時までには終え、次の除雪態勢をとり、町民のみなさんの日常生活にできるだけ支障のないように活動することになっていきますが、ドカ雪や豪雪の場合などには作業の遅れなどの影響があることも考えなければなりません。

豪雪にとどまらず、除雪中に障害物があつたりしては、作業の遅れは必然です。

たとえば、路上に放置したままの自動車、路上への排雪などです。これらは時間的な遅れだけでなくにとまらず、建造物等の破損も誘発しかねません。

一人の人の無責任な行為が、みんなの迷惑になります。冬の

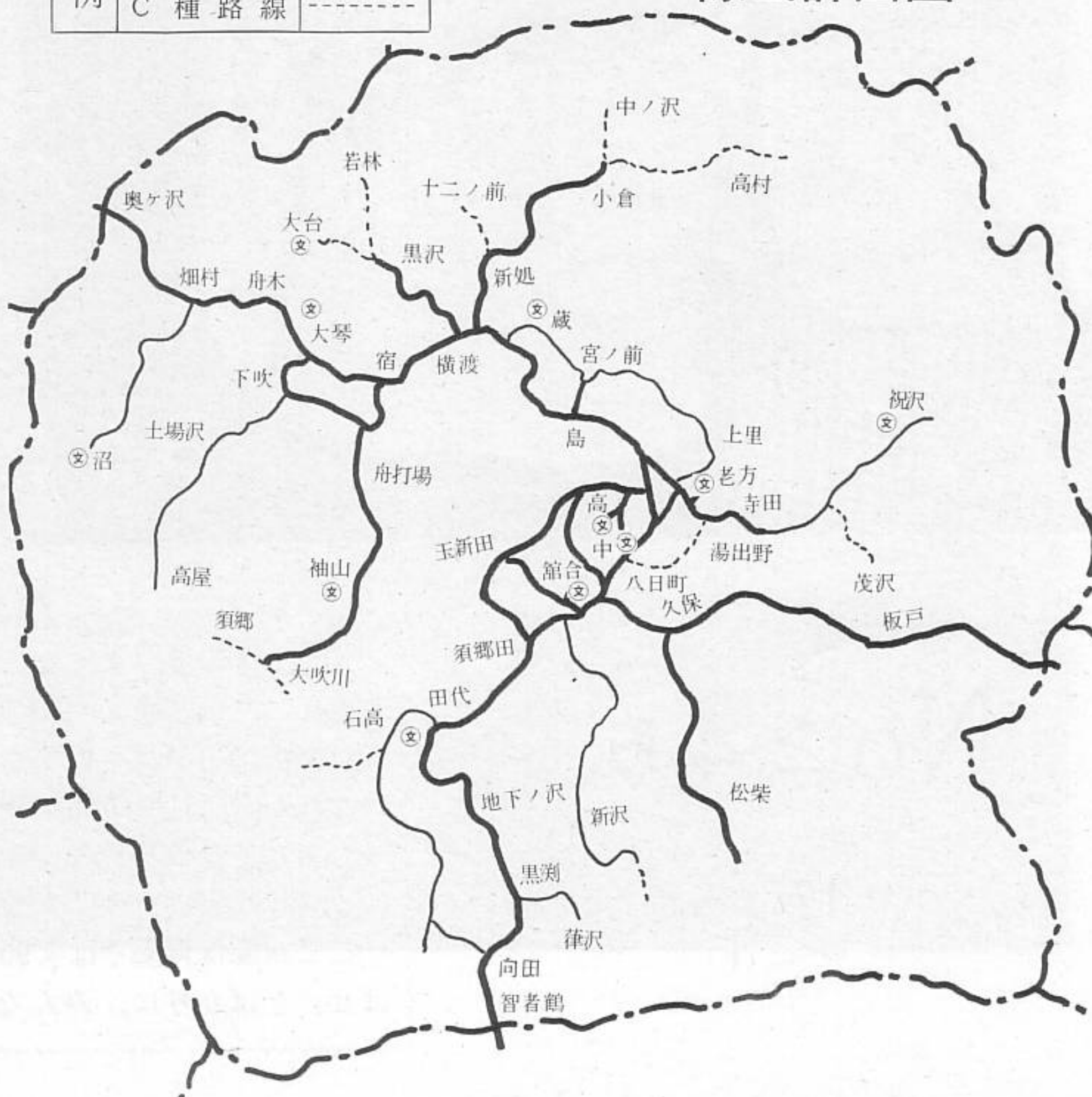
道路敷となつてゐる土地や側溝の上に放置した物品が、除排雪を著しくさまたげたり、破損したりするという事故が毎年のようにあります。

道路敷となっている土地への物品の放置や側溝を利用した物品の放置は、ぜったいにやめてください。

また、道路に接近しているもので破損の恐れのあるものや、毎年のように傷つけられているもので移動できないものなどは、くいを立て赤い布で注意表示をするなど、町民のみなさんのご協力をお願いします。

除雪計画図

凡 例	A 種路線及び 県委託路線	
	B 種路線	
	C 種路線	



東由利中学校寄宿舎

今年は62人が入舎

教育の場としても注目

今年で六回目の冬を迎えることになった東由利中学校寄宿舎の入舎式が、去る十一月十日に行われました。

今年は、男子二十八名、女子三十四名の計六十二名の生徒が入舎し、来年三月二十日までこの寄宿舎で寝食をともにし、ここから通学することになりました。

入舎できる生徒は、片道の通学距離が八キロ以上の希望者と通学生の健康状態などから決められることになっていますが、七十二名の収容人員に対し、入舎することのできる生徒の数が減ってきていることから、

今年に限っては、片道の通学距離が六キロ程度で寄宿舎を希望した生徒も入舎しています。

長女につづいて、二女も昨年から入舎させているという大吹川の畠山友雄さんは、「……寄宿舎に入れば、自分の家にいるときのようにわがままな生活はできないので、規律が身につくし、また、共同での生活の中からは協調性や友情も育つ……心配なことは何もなし」と語って

《寄宿舎の一日》

午前

6時30分 (起床)

洗面・清掃

6時50分 朝の自習

7時 食事の準備

7時10分 食事

8時10分 登校の準備

(登校)

学校で授業

帰舎次第居室の清掃

午後

5時 (帰舎)

食事の準備

5時20分 食事・入浴

自由時間

7時30分 自習

9時 (消灯)

9時30分

ただし、高校受験者や希望者は、消灯後も十一時までと早朝は居室からホールに移って自習することが認められています。

いました。

旧下郷中学校と旧玉米中学校を統合する際に、もつ

とも心配されたものの一つ

に、この寄宿舎生活のこと

が、現在では

安心できる

“という父兄

の声につつま

れ、統合によ

るハンデとい

われていた部

分をみごと克

服しています。

四か月半と

いう長期間の団体生活は、生徒

一人一人の中に協調性や自主性

を育てることのできる希な機会

となり、教育の一つの場として

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

……*

無料 人権法律

相談所が開かれます

12月13日 役場で

秋田地方方法務局本荘支所では次の日程により、無料人権法律相談所を開設します。

人権問題のほか、借地・借家・相続・扶養・登記・戸籍・供託などの問題について、日頃悩んでおられること、疑問に思っ

ていることなどについてご相談ください。

記

期日 12月13日(金)

時間 午前10時～午後3時

場所 東由利町役場



みんなそろっての食事は楽しみの一つ

交通事故をなくし

明るい年末年始を！

—私の誓い 交通安全—

ゆとりで走ろう



ここにも冷害があった

稲作にプラスする拡大作目の中で、安定した畑作目として栽培農家数、面積ともに年々増えている葉タバコの収納が、横手葉タバコ収納所を全県トップに十一月十六日から始まりました。

本町における今年の葉タバコの作付けは、百十一戸の農家が二十七・七畧を栽培しています。栽培している葉タバコは、十六日から十九日まで行われ、高村地区と館合新田地区の農家が生産した葉タバコを残して全部終了しました（高村地区、館合新田地区の農家が生産した葉タバコは、来年二月三日に収納されることになっています）。

これまで収納された本町の葉タバコは、八十九農家が生産した六万五千九・五^キで、金額にすると約六千九百九十万円になり、これに来年二月に収納する分約一万八千八百八十^キを併せると、全体では史上最高の九千万円台の販売代金になるものとみられています。

葉タバコ

量から質への転換を

栽培しています。

しかしながら、ここでも冷害の影響からはまぬがれず、特に秋の長雨は、葉タバコの乾燥に大きく影響し、収量的には昨年を上回っているものの、品質の低下が著しく、価格体系が量目より品質に重点がおかれてきている中だけに、今後課題を残しています。

とは言っても、十^ア当りの販売代金が四十万円を越す農家も少なくなく、中には四十六万円という農家もあり、栽培農家の新たな意欲をさそっていました。葉タバコは、普通十^ア当り二百七十五^キ程度の収量にするのが、品質向上の面からみても望ましいとされていますが、昨年



厳正な検査をみまもる生産者たち（横手葉タバコ収納所で）

は平均三百九^キ、今年に至っては三百二十^キの平均収量となっており、いかに収量重点の栽培が行われてきたかがうかがえます。

しかし、これはそれだけ品質の良くないものが生産されていたということの逆もあり、その上、今年のような天候の場合は、乾燥段階においてまた品質が低下してしまうので、どうしても収量の割には収入が少ないという結果になるわけです。

専売公社東北支社増田生産事務所の大崎技術課長の話によると、これまでの反省から次の三点が、今後の大きな課題として指摘されました。

1、良品の葉タバコを生産するためには、堆肥を十分に施す必要がある。この場合、春の施肥は堆肥中に含有する塩素の量が多いので、秋施肥がのぞましい。

2、価格体系が、品質に重点をおくようになってきているので、量より質の向上をはかるため、十^ア当りの標準収量を二百七十五^キ程度におさえる必要がある。

3、乾燥がいかんにか大切であることは今年の作柄をみてもよくわかる。

乾燥は、一般的にパイプハウスで初期乾燥を行い、仕上げ乾燥は屋内でするようにし今年のような場合には、火力乾燥も必要となってくるので栽培面積にみあった乾燥施設を充実していくことが必要である。

町長日記

10/25 「郷の友の会」あり。郷の友の会は、村議町の経験者の親睦会であって、佐藤謙吉さんが会長になっておられる。あいにく参席できなかったが、本町の今日を築いた功労のあった方々の会であるので、「郷の友の会」への認識と会の意義をあらためてかみしめたい。

10/29 中学校、小学校の音楽の合同授業（於玉米小学校）。情操教育は、美へのアプローチを通して、論理のための時間を超えて、是非、善悪、真偽の判断する能力の教育であろう。

11/4 法内のミニライズセンターの竣工式。第二次山村振興事業の特別開発事業の一つである。実施年度が繰上ったために地元として対応に難儀されたが、集落農家の皆さんの努力で秋の収穫までにみごと操業を開始した。本町における稲作の機械化の体系が、法内に於いて実現したことは意義深いことであって、関係者の皆さんに心から敬意を表したい。

11/5 林道杉森線は五十年に達する工三年計画であるが、残工事が約一、〇〇〇^キあるので明年度全額予算がつく。

くか心配してある。道路の線形の案が決ったので地元関係者の皆さんが役場に集まって線形、潰れ地について役場側と話し合う。

11/12 厚生省の医務局よりへき地診療所の現地調査のため、広永総務課長補佐外三名が来町して大琴診療所を視察する。黒淵診療所も老朽しており、明年度改築の計画もあるので、へき地の医療の実情を説明する。

11/15 防火訓練大会。本年は田代部落に於いて実施されたが、酒田大火という教訓の後だけに緊張感に満ちた訓練となった。

11/23 勤労感謝の日。新嘗祭が勤労感謝の日となったのは終戦後である。神武天皇が即位四年後に国が定まって新穀を天神地祇に捧げたことあり、大嘗会（新嘗祭）という儀式が生まれる。

神に新穀（初穂）を捧げ、祭るといふ表現は何れの民族にも共通であるが、この日食糧に感謝し、生産労働の尊さを、日本民族の国造りに遡って考えたい。

住吉小から火災発生？

田代地区消防
防想定訓練

本番さながらに

午前九時、住吉小学校調理室付近より火災発生、必死の消火活動にもかかわらず、風速十メートルの南西の風にあおられた火は、近くの民家等にも着火火災上——という想定で、田代地区消防想定訓練が十一月十五日に行われました。

これには、町消防団員約二〇〇名のほか、地元婦人消防隊員七十五名、分署員、二十六台のポンプ、救急車などを出動させる大がかりなものでした。

午前九時……小学校からの火災発生の通報により、管内各サイレんが吹鳴——全分団出動——小学校児童避難——避難中児童一名



婦人消防隊にかけられる期待は大きい

ケガのため救急車を要請——救急車出動——一次火災への集中放水——延焼防止と飛火警戒のため直結放水——二次火災発生——二次火災への集中放水及び延焼防止のための傾注放水——付近一帯の厳重警戒——必死の消火活動により鎮火……約三十分間にわたって、本番さながらの訓練が行われました。

この訓練で特に目立ったことは、婦人消防隊の活躍で、バケツリレーはもとより、消火栓からの直結放水など、その技術が年々高くなってきていることです。

これから寒い季節に向って、

走れ!! 青春



小松知子さん
(下通)
3人兄妹の末っ子
昭和30年3月8日生
(農協本所勤務)

◇ 青年会活動をしているようですが、君にとって「青春の実感」とは何ですか。

◎ (「別に青年会を批判するわけではありませんが、と前おきして) 集会などで集まっても、言うことはいつも同じことばかりで……何だかわからないけど、何かがある足りないんです。このエネルギーが青春かなあ?

◇ この(12月)5日は、衆議院議員の総選挙ですが、この選挙をどう言う気持ちで迎えていますか。

◎ どの立候補者もみんな立派なことを言いますが、当選してしまうとその人が今何をしているのかわからないので、そうしたこともぜひ教えてほしいものです——選挙では、党とか、派閥とかに関係なく人物本位で選びます。

◇ 今一番やってみたいことは何ですか。

◎ 旅行をしてみたい——こういうところに勤めていると、どうしても生活の範囲が狭くなっているの、いろいろなものを見て、聞いて勉強したい。

◇ 東由利町の将来について、今何を一番強く感じていますか。

◎ 人口がだんだん減っていること——知っている人が一家で転出していったりとさみしいですネ。

◇ 現在の東由利青年の姿(生活)をどうとらえていますか。

◎ 若い人たちが集まると、あれもやってみよう、これもやってみようとしてすごく活発なのですが、これが周囲の条件に制約されてくると、それに左右されてしまっていて最後には、何をやっているのかわからなくなってしまうようなことも多い……気迫が足りないって言うのかなあ……。

※ 自分の短所は、喜怒哀楽が激しいところ——と言う彼女、明るく、キリッとした感じの娘さんでした。

(インタビュアー 小松)

暖房器具や電熱器具からの火災が発生しやすくなる中で消防団員の多くも出かせぎに出ることなどから冬季における婦人消防隊に対する期待はますます大きくなっています。

しかしながら、それにもまして私たち一人一人のふだんからの火気の取り扱いに対するしつかりとした心がまえがのぞまれます。

また、消火栓や防火用水池など消防利水の付近に、駐車したり、物品を放置したりしておく

自衛隊生徒募集

- 受付期間 昭和51年12月25日まで
- 受験資格 昭和52年3月中学卒業見込み、又は17歳未満の者
- 試験 第1次試験
昭和52年1月5日 科目(国語・数学・社会・理科・英語・作文)
第2次試験
第1次試験合格者のみ
- 修業年限 4年
(卒業後)3曹に任官、高校卒業資格取得、防衛大学受験可能
- 待遇

学年	1年	2年	3年	4年	修了時
階級	3士	2士	1士	士長	3曹
俸給(月)	71,000	73,700	79,700	83,000	89,300

- 申し込み 受験票は役場にあります。詳しいことは住民課へお尋ねください。

町民のひろば



古文書解読集ができています

町教育委員会では、町の歴史を知るうえで最も貴重な古文書・古記録を収集し、その解読集を作成しました。

この解読集は、昭和四十六年から町文化財調査委員会の手で収集されたものを、故高橋徳太郎氏（久保）が解読したものでその数は、一三一件、一、八三三ページにもおよぶ膨大なものです。

その内容を見てみると、最も古いものは慶長十七年六月二十八日付、由利滝沢内御用物件等覚帳であり、今から三百六十余年前のものです。

このほかにも、先人の足跡や生活・文化などの一端をのぞき

みることでできる事件、地積、農産物の収穫高などが記録されています。

教育委員会では、これを一巻約二〇〇ページに綴り、九巻ほどにまとめることにしており、現在四巻までの作成が完了しています。

解読集は、公民館図書室にありますので、あなたも一度先人の生活にふれてみませんか。

戸籍謄本の請求には

“使用目的”を明らかに

12月1日から、戸籍謄本の交付請求のしかたが改正されました。

改正の理由は、戸籍を不当に利用して国民のプライバシーを侵害することをなくするためです。

今後、他人の戸籍や除籍の謄本を請求するときは「請求事由」を具体的に示していただくこととなります。もし、その請求が不当な目的

によるものであるときは、交付は受けられなくなります。

また、本人と偽ったり、ウソの事由を示して戸籍謄本の交付を受けたときは、過料に処せられることがあります。

今回の改正では、このほかに従来はできた「戸籍の閲覧」もできなくなりました。

なお、郵便で請求する場合の手数料は、必ず現金書留か、定額小為替で納めてください。

この一票 わたしの声です

12月5日は衆議院議員総選挙の投票日です

また、投票日には最高裁判所裁判官の国民審査投票も一しよに行われます。最高裁判所は、憲法の擁護と人権の保障という重要な職責をもつ終審裁判所であり、これを構成する裁判官に対する国民のいわば公務員選定罷免権を行使する制度であります。

善意

町社会福祉協議会へ
榎野忠義さん（下小路）
から、亡父の香典返しにかえ金一封

私たちの文芸

「町民のひろば」の紙面の向上をめざして、今号から「私たちの文芸」をスタートさせ、町民のみなさんの作品を紹介していくことにしました。

詩、俳句、短歌などあなたの力作を、ぜひ係までお寄せください。今回は、先の「生活文化・農業祭」俳句展での優秀作をご紹介します。

寡婦となる
窓を小さく冬囲ふ

舟木 鈴木白洋

庵の

とろ火枯野の主待つ

下通 小松鉄牛

熟れ姉の

赤き勤労感謝の日

湯出野 小松一姉

住み馴し

家の古びや炉を開く

横小路 畠山孤舟

慶弔

10月21日～11月20日



〇誕生
おめでとう

工藤智恵 新処 秀悦 長女
出原聖紹 宇戸坂 高吉 長男
川尻竜昭 黒 淵 峰男 二男



〇結婚
おしあわせに

小松 佳和
斎藤 邦子
田代 神岡町

阿部 玲子
佐藤 政雄
泡ノ 羽後町

古関 幸助
桑田 君子
横小路 雄物川町

〇お悔み申し上げます

遠藤喜一郎 新処 72歳
遠藤吉美 十二ノ前 66歳
小松 勇 五海保 71歳
菊地里美 五海保 42歳
榎野三雄 下小路 71歳
渡辺サダエ 下通 68歳

町の概要	
人口総数	6,609人
うち男	3,252人
うち女	3,357人
世帯数	1,506戸
面積	148.51km ²
(51.11.1現在)	

一住吉小一 ぼくらの貯金が 百五十万円をこえたぞ！

町内の各小学校では、毎月一回「貯金の日」をもうけて、子どもたちの自主的な貯蓄活動をすすめています。

この活動は、子どもに貯蓄の大切さと節約の心をそだてる一方、お小遣いのじょうずな使い方を教えていくもので、子どもたちが、自分のお小遣いやお駄賃をためているものです。

貯金は、卒業時にはそれぞれに手渡されますが、修学旅行な

どの費用の一部としても有効的に活用されています。

住吉小学校では、昭和四十一年五月からこの活動をつづけてきており、現在の全校児童七十二名の貯金額は、六月二日現在で百五十六万五千八百一十一円になりました。

これは、児童一人当りにすると二万一千七百四十七円という額になり、子どものお小遣いと比べると、こつこつと貯える姿

東田利町報

No. 246 昭和51年12月15日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



No 246

12

15

〈春からはぼくも一年生だぞ!〉

来年4月に小学校に入学する児童の身体検査が、このほど永慶、みどり両保育園で行われました。おかあさんにつき添われた児童たちは、白衣のお医者さんの検査に多少緊張しながらも「春からは1年生なんだ」という喜びも大きく、キビキビとした現代っ子らしい一面ものぞかせていました。

全町の入学予定児童は71名で各小学校別には、住吉小13名、玉米小14名、老方小14名、蔵小16名、宿小14名で、袖山小には新入学児童がなく、全体では昨年より7名減っています。

創造性を伸ばし・・・ 豊かな心を育てる

＝ますます盛んな小学生の発明工夫熱＝



本荘市由利郡学校保健会が主催する第26回健康優良児童母子表彰が先ごろ実施され、本町宿小六年の畑山恒君とおかあさんの親子さん(下吹)に表彰状が贈られました。この表彰は、ふだんから健康の保持増進につとめ、勉強と各種スポーツに励んでいる健康優良で、かつ成績優秀な児童と、そのおかあさんに贈られていたものです。

発想や思考パターンが固定してしまっている大人に比べ、子どもは思考が自由であり、それだけに創造性にもユニークなものがあります。

そうした子どもたちのアイデア作品を一堂に会した展示会が町生活文化祭の発明・工夫展のあとも相次いで開催され、本町児童の作品は各展示会で大量の入賞を果たし、衆目の的となりました。

その一つである第二十四回本荘市由利郡発明展には、本町各小学校児童のアイデアの力作も六十八点が出品され、郡内他市町村児童の作品の中にまじって十七点が入賞するという成績をおさめました。

審査員の方々は、「今年作品の特色は、廃物利用など子どもたちの間にも節約の思想が浸透していることをうかがわせるアイデアや、佐々木真由美さん(宿小三年)の磁石式九九

練習器のように、学習の中からヒントを得たと思われたすぐれた作品が目立った……」という講評があり、この発明展が子どもたちの学習とも密着した関係にあることを指摘しました。

入賞児童の氏名等は、次のとおり。

- ・秋田県知事賞 佐々木真由美(宿小五年) 磁石式九九練習器
- ・発明協会秋田県支部長賞 太田光弘(蔵小五年) 便利なチョーク入れ
- ・ABS秋田放送賞 大庭弘威(宿小一年) 動くオモチャ(パッタ)
- ・NHK秋田放送局長賞 佐々木精人(宿小二年) ニューパチンコ
- ・理科研究会長優秀賞 小松和枝(宿小二年) 動く小鳥
- ・理科研究会長優秀賞 佐々木興(宿小四年) 便利な習字板
- ・本荘市長優良賞 小松明(宿小一年)
- ・遠藤友子(蔵小一年)
- ・木島修子(宿小五年)
- ・大庭扶紀子(宿小六年)
- ・郡市発明協会優良賞 梅津勇康(宿小六年)
- ・本荘市長奨励賞 大庭ちえ(宿小一年)
- ・石綿伸朗(宿小二年)
- ・佐々木興(宿小四年)
- ・畑山作栄(宿小四年)
- ・大庭宏尚(宿小四年)
- ・優秀学校賞 宿小

郡市でもトップ クラスの宿小

この中で、特に目立ったのは宿小児童の作品が、出品点数、入賞点数とも郡内各小学校の中でも常にトップクラスにあり、昨年に引きつづいて優秀学校賞を受けたことでもあります。

同校の伊藤校長は、「……この発明工夫は、子どもたちの創造性を伸ばすだけでなく、心の豊かさという面においても大きなプラスとなっており、今後もできる限り伸ばしてやりたい。いずれにしても、今回の大量授賞は、子どもたちのアイデアに父兄や先生方が、お手伝いしてあげたという三位一体の成果……」と語っていました。

県発明展でも 上位入賞

また、これとは別に十一月十一日から十五日まで、秋田市本金デパート四階で開催された県発明展でも、宿小児童の作品六点が入賞するという成績をおさめ、全県レベルでも高い評価をうけました。

入賞児童の氏名は、佐々木真由美(県教育賞)・大庭弘威(発明協会県支部長賞)・大庭アケミ(県商工会長賞)・佐々木精人(斉藤憲三顕彰会賞)・小松和枝(読売新聞社賞)・木島修子(AKT秋田テレビ賞)

町議 田代氏急逝



町議会議員として、今年七月に七度目の当選を果たしたばかりで、その活躍がますます期待されていた田代寿治氏は、去る十一月三十日午前〇時三十分、心筋梗塞のため亡くなりました。享年六十七歳。

氏は、昭和四年一月に現住所の本町蔵で獣医師を開業し、獣医師業に専念する一方、由利郡雄畜管理者協会会長、下郷村農業共済組合副組合長、由利畜産農業協同組合理事、監事を歴任し、本町の畜産振興に多大な業績を残しておられます。

また、昭和二十二年に旧下郷村議会議員に当選されて以来、議会議員としての在職は二十四年七か月におよび、この間に副議長、総務委員長、教育民生委員

員長、産業経済委員長などの要職にあつて、町の産業、福祉の発展に多大な貢献をなされました。特に、町民の長年の願いでありました東田利水道の施設にあつては、促進後援会長としてその早期完成に努め、今日を築きあげました一人でもあります。剛直果敢でかつまた素朴な人柄の氏は、もっとも郷土を愛した人の一人でもあり、急逝は多くの町民から悼まれています。葬儀は十二月三日、蔵立寺において多数の町民が参列してしめやかにとり行われました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

78投票率
・15%

衆院総選挙終わる

のぞまれる投票参加への心構え

自民党が安定多数を切り切るか、それとも衆議院にも「保革伯仲時代」がやってくるか——ロッキード事件を契機に、政治のあり方が問い直された第三十四回衆議院議員総選挙は、十二月五日に投票が行われました。

低かった投票率

本町においては、春からの異常気象——冷害——出かせぎ——という条件の中で行われた選挙であるだけに、四千八百五十人の有権者の審判のゆくえは注目されるところでした。

午前七時から町内十三投票所で一斉に開始された投票は、午

後六時（一部の投票所は五時）で閉じられ、同日午後七時から役場会議室で開票が行われました。

全体では78・15%にとどまり、全県平均77・62%は上回ったものの、由利郡の平均には遠く及ばず鳥海村の最下位に次ぐものでした。

出かせぎ最盛期に行われた選挙であるので、投票率の低下は必至とみられていただけに、町選挙管理委員会が中心となって「棄権防止」の啓発が連日行われました。

しかしながら、投票率は男子が71・14%、女子が84・78%で

票をしなかった四百九十一人を差し引いた五百七十人が、在町の棄権者であったことになりました。

私たちの一票一票の大切さについて、今さら申し上げるまでもありませんが、私たちの生活をより豊かに、生きがいのあるものにするためには、安心して政治をまかせることができる立派な代表を選ぶことが大切です。

出かせぎ者の場合も、不在者投票の制度がありますので、おつくうがらずにその気にさえないば、投票に参加することができるようになっています。

町民一人一人が、もっと政治に目を向け、投票に参加していくことがのぞまれます。

各候補者別得票数は次のとおり。（内は本町の得票数）

当選 栗林三郎 社会元

六一、六四〇票

当選 川俣健二郎 社会現

五二、七三〇票

当選 笹山茂太郎 自民現

五一、五四五票

当選 根本竜太郎 自民現

五一、四九七票

次点 村岡兼造 自民現

五〇、二六〇票

長沼宗二 共産新

一五、〇三二票

(四七票)

（東）（由）（利）（町）

昭和五十一年の足あと

一月 無火災五八四日でストップ——智者鶴と小倉で三棟を焼く

二月 出かせぎ留守家族懇談会に二六〇余名が出席して盛会

町消防団、消防庁長官賞「竿頭綬」を受賞

出かせぎ農業者短期研修——八王子のしいたけ栽培を見学

三月 昭和五十一年度予算十一億二千二百万円を議決

小松民三郎助役を再選——二期目に

永慶、みどり両保育園福祉法人認可保育所としてスタート

町農業近代化ゼミナールが発足

保健推進員に一二六名を委嘱

佐々木新副知事が市町村訪問で来町

参議院秋田県選出議員補欠選挙で八〇・八〇%の高い投票率

出かせぎ者に対する雇用保険の事務指導を始めて行う

町民運動場の新設工事が始まる

六月 二千五百人が参加して第五回球技大会

第二次農業構造改善事業の地域指定を受ける（北部地区）

町議会議員選挙が行われる——新しい代表十八人決まる

町議会、議長に長沢毅氏、副議長に小野昭一氏を選任

豪雨災害から一年——今年度中に被災箇所約九割を復旧

町内の青年、婦人層を対象に本荘・由利広域圏視察を実施

ミニ総パ事業（農業基盤総合整備事業）の事務に着手

厳しゆく町追悼式

町成人式——二二三人が大人を自覚

出かせぎ者を対象としたガス溶接技能講習会開かれる

緊急粗飼料増産総合対策事業で草地再整と牧道整備を行う

国道一〇七号線整備促進期成同盟会発足——本町が事務局

法内集落農場組合のミニライスセンターが完成

約四千人が参加して町民運動会

山村開発センターいよいよ着工

九月 全国へき地教育研究大会秋田大会で住吉小・東中も会場校に

東由利町淡水魚生産組合が発足（ヤマメの養殖）

生活文化・農業祭開催——年々盛況に

冷害——被害額が五億円を越す。収穫皆無田二十一戸

町功労者表彰式、佐藤玉治、遠藤玉蔵、阿部良四松の三氏を表彰

衆議院議員総選挙——投票率は78・15%

救農土木事業を発注

育てよう政治にむける目と心



八月十七日から同三十一日までの予定でありましたが、中国国内の大地震や政変などにより延期されてしまった「日中友好秋田県農業青年の翼」が、先ごろ実施されました。一行は、十一月九日から同二十六日まで中国各地で視察や現地青年との交歓などを行い、友好と親善を深めて帰国しました。団員の一人として参加しました新処の遠藤忠平さんに寄稿していただきましたので、ご紹介します。

中国訪問を終えて

遠藤 忠平

ことわざに「百聞は一見にしかず」とありますが、毛沢東の亡きあと八億国民が華国鋒同志を中心に、その悲しみを力に変えて革命闘争に邁進している姿を、つぶさに拝見し深く感銘するものがありました。

私は、この一帯となつて躍進する中国を、業を同じくする秋田県の農業青年同志とともに、終生忘れることのできない意味の深い勉強のできましたことに、関係機関並びに町民各位に心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

「時は一瞬の休みもなく、無限の動きである」とは、有名な文豪のことばであります。今の中国の革命は、瞬間もその流れをとどめてはいないと感じたのであります。

あの広大な国を、わずか十八日間ですべて解つたとはいえませんが、私は中国の各地で民衆と対話し、多くの人々と接する機会を得ました。あるときは人民公社で、また、あるときは生産隊や学校で、そしてまたあるときは病院や託児所で、様々な年齢層、様々な立場の人々と語

つてきました。

その中で、私は次の二つのことについて述べて見たいと思います。

まず、「農業は大衆に学ぼう」という国民の合いことばであります。

大寨村は、山西省東部の昔陽県下であり、太行山脈の支脈にあたる虎頭山の山すその世帯数八十三、人口がわずかに四百三十人（うち、労働者百五十人）の小さな村であり、ここに三日間滞在しました。

国民が「大衆に学ぼう」とする一片は、あの辺地にある人民公社大寨生産隊が、毛思想を實踐し、自力更生の精神を発揮し、修正主義者と戦いつつ、模範的な村をつくりあげたことと、リーダーである陳永貴氏（現副主席）は、典型的な貧農出身者であることなどにあり、これまで二〇〇万人をこえる見学者があつたという、他の模範でありました。

修正主義者との戦いのほかに苛酷な大自然との戦いという困難をのりこえている、貧農同志

の敢闘精神に私は深く感銘を受けました。

特に、私は集落農場化を実施し、その一貫体系の中にあつて絶対多数の人間と仕事をし、いく上で、相互の意見を尊重し、話し合つて団結し、実践しなければならぬことの重大さを再確認すると同時に、私たちの集落農場事業に通ずる勉強になりました。

また、教育については今後の中国をうかがえる一面を見たような気がしました。

生徒数二千三百人、先生百九十八人、四十四クラスを有するといふ北京市第五十中学を訪問

しました。そこでは、点数によつて生徒を評価すること、また、ノルマによつて生徒につめ込むだけという教育でもありませんでした。

生徒全体が、良くわかるまで全員で考え学ぶという教育方法でありました。

放課後は、「少年宮」に集まり、「得育知育体育」に重点をおき、のびのびと生徒の個性をのびす教育をとり入れ、それは日本の学習塾とは全く異つた教育の方法でありました。

先生と生徒が終日一体になり教えるが先生たちの真剣なまなざしは、国の宝である子どもたちを立



大寨の子どもたちといっしょの筆者

派な知識と立派な思想、立派なからだをもつ労働者に育てる義務を、生徒と社会を結合し、実践しているのではありません。

また、社会主義の正確さと政治に対する関心を、朝陽が登るような子どもたちに教えている

ことであります。

この中で得た一つの結論は、この先五十年、百年という長い未来をみた場合、その途中には多くの革命があろうけれども、やがて世界から脚光を浴びるであろう計画の一つ一つが、瞬間の休みもなく進められているといふことであります。

一九四九年、新しい中国が誕生して以来、多くの戦争や打ち続いた自然災害、またソ連技術者の引き揚げ、国際圧力の中にあつてもここまで立ちあがったことは、偉大な指導者であつた毛沢東のもとに国民が団結し、「自力更生、刻苦奮闘」した驚異的といえる勝利ではないだろうか。

むろん、中国は遅れているところもたくさんありました。しかし、話に聞いていた解放前の悲惨な姿はなく、むしろすっきり脱出した感じがした。

八億国民が飢える心配を解消し、仕事に充分にできるとしたなら、自然に国民が勇ましく見えても不思議ではありません。

最後に、私は「過ぎたことは過ぎたことであり、日本とは世代代子孫孫まで友好を続けよう」と言う中国国民の温かく広い心と、戦争という傷あとを少しでも感じさせまいとする大きな配慮に対し、深い感銘と感謝の念を一層強くさせられました。

また、今後より多くの町民が訪中し、見聞を広め、友好を広めることによって、両国の友好平和が末長く維持できるものと確信した次第であります。



《購入時には十分は注意を》

年末年始の食品衛生は万全に

クリスマス、大晦日、元旦を控えて師走は短期間に多種類の食品が大量に消費されることなどから、食品業者にとつては限られた期間に大量の食品が製造販売される一年の中で最も忙しい時期です。そのため食品の取り扱いが粗雑であつたりして不衛生になりがちです。また、製品を長持ちさせる

クリスマス、大晦日、元旦を控えて師走は短期間に多種類の食品が大量に消費されることなどから、食品業者にとつては限られた期間に大量の食品が製造販売される一年の中で最も忙しい時期です。そのため食品の取り扱いが粗雑であつたりして不衛生になりがちです。また、製品を長持ちさせる

日本赤十字社北海道支部事務局長

小松金之助氏(本町)亡くなる

本町出身で、日本赤十字社北海道支部事務局長として活躍しておられた小松金之助氏は、去る十一月十九日亡くなられました。

同氏は、老方尋常小学校を卒業、秋田商業学校(現秋田商業高校)を卒業、法政大学を卒業し、昭和十二年外務省に入省、後に台湾府勤務。

昭和十八年応召し、復員後は北海道庁に勤務、会計課長、

社会課長、漁政課長、民生部長を歴任し、昭和三十二年日本赤十字社北海道支部事務局長に転出し、今日に至つておりました。

同氏は、元議長小松忠一郎氏の令弟であり、秋田商業学校を首席で卒業し、高等文官試験をパスした秀才でありました。

心から冥福をお祈り申し上げます。享年67才。

12月は固定資産税(第4期)の最終納期月です
遅れたり、忘れたりしていた税金は年内に完納するよううにいたしましょう。

役場などの年末・年始 休日のお知らせ

役場、教育委員会、公民館の年末年始の休日は、12月29日から来年1月3日までです。役場などへの用事は、早めにおいでください。

年賀状は22日まで お子さんの場合は

保護者の名前も忘れずに

あわただしい年末の年賀状書きはとくに遅れがちですが、年賀状が元旦に届くようにするためには、早めに準備することが大切です。

年賀状の受け付けは、十五日から始まりますが、特に遠距離の場合などはおそくとも二十二日までお出しください。

また、次のことについてのご協力をお願いいたします。

○ 迷子の年賀状にならないようにするため、団地やアパートの名前、棟番号や室番号、子どもなどの場合は保護者の名前も忘れずにお書きください。

○ お年玉つき年賀はがき以外には「年賀」と朱書きし、また郵便番号も忘れずに記入してください。

年末年始の 犯罪と交通事故を 防止しましょう

年末は、ドロボーの被害が発生する時期です。お出かけのときは鍵をかけて、おとなりへ一歩かけてからお出かけください。また、銀行、郵便局から現金を引き出した人などが特に知られていきます。多額の現金を持ち歩くときは男子二人以上で行うようにしてください。

学校もこれから長い冬休みに入りますが、日ごろの緊張から解放され、子どもの不良化が多くなりがちです。冬休み中は機会あるごとに子どもとの対話をもち、少年の非行防止につとめましょう。

年末年始は、忘年会、新年会などで飲酒の機会が多くなります。毎年この時期は飲酒運転による交通事故が発生していますので、町民一人一人が自覚して「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を実行し、交通事故のない明るい正月を過ごしましょう。

火災は人災

防ぐあなた

町出身新鋭童話作家の

「しろくろぐま」が好評

高橋宏幸さん——童画、童話界でも注目されているこの新鋭絵本作家が、本町老方の出身であることを知っている人は少ないでしょう。

高橋さんの生家は、(今はなくなりましたが)上通にあり、ここに生まれ、幼少の頃をすごし、老方小学校の校長であつた父孝二郎さんの転勤といつしよに、本町から転出していきます。

現在、高橋さんは東京都田無市に住み、出版編集、レコードジャケットのイラスト、CMデザインなどを業務とする「ハチ・プロダクション」を経営し、画家、コピーライター、作家など常時三百人のブレーンを擁しているというからすごい。

一方、最近ではプロダクションの仕事より、絵本作家としての活動に忙殺されており、自作自演の絵本が六冊、文だけ、絵だけというものも合わせてとすでに十五、六冊の作品を世に出し、いずれも大好評です。

特に「チロヌツプのキツネ」は英訳され、カナダやイギリスの子どもたちにも読まれています。

また、最近の傑作である「

しろくろぐま」は、

「ある日、狩りに出かけて道に迷った少年ヤンは一頭の「しろくろぐま」に命を助けられた。無事に家にたどりついたヤンの話をきいて、金もうけをたくらんだおじのリンは、「しろくろぐま」狩りに出かけていったが……。中国でも最近まで伝説的な動物とされていた、パンダと少年の物語で、郷土秋田の風土にとけ込み、その中から生まれた高橋さんの哲学がのぞかれます。

「しろくろぐま」は、講談社より880円で発売されておりたいへん好評です。



町民のひろば



ペツタンペツタン

親子モチつき大会

(田会 新も 蔵こ)

秋の農作業も一段落した十一月二十三日、蔵新田子ども会では、約五十人の親子が集まり「ペツタンコ親子モチつき大会」を開いて、短かい秋の一日を親子で楽しくすごしました。

秋の農作業が遅れていたことなどから、なかなかおとうさんやおかあさんといっしょに遊ぶことのできる時間がなかったためか、子どもたちは大はしゃぎ



午前九時から話し合いやゲームなどを行ったあと、十一時からはいよいよ「モチつき」。

一番小さい保育園の子もたちがはりきってキネをもったものの、なかなか思うようにならず悪戦苦闘。そうした光景におとうさんやおかあさんからは、思わず拍手がわき上がる場面も続出。

つづいて、小学生へ中学生へとキネを持つ順番が回りました。

持つことのない子どもたちだけに、おとうさんやおかあさんは笑ってみたり、ヒヤヒヤしたり。

最後におとうさんやおかあさんがついて、おモチはできあがり。

つきあげられたおモチは、おかあさんたちの手で素早くアンコモチや雑煮にされて、たのしい会食。

午後からは、民生委

由利土木事務所長あてに匿名で要望のありました件につき、役場を通し同事務所から回答がありましたのでお知らせします。

〈要望事項〉

- ① 須郷田内(旧小野民太郎宅前)のカーブの側溝に蓋をしてほしい。
- ② 田代亀島地内の側溝の排水が悪く、道路に溢水するので側溝改良をしてほしい。
- ③ 地下ノ沢地内(長谷山久一宅前)及び向田方面の舗装の損傷が著しく、補修してほしい。

〈回答〉

- ① については、冬期工事は冬期交通対策の上で障害がありますので、52年度に実施したい。
- ② については、水路形体を整理し、集水枘及び暗渠を来春に整備したい。
- ③ についても、舗装の補修は冬期間は合成の手配が難しく、来春に整備したい。なお、冬期間において危険な箇所について

は随時砂利等で補修する。

※ 別件で、田代亀島地内にガードレール設置の要望もありますが、これについては、消雪後に冬期交通、交通安全施設を併せて検討する。

(由利土木事務所 道路維持係)

なお、由利土木事務所に要望がありましたら、回答の都合上匿名でなくお願いします。

出かせぎ者のみなさんへ

年始の上京バス運行のお知らせ

町では、次の日程で年始上京バスを運行しますので、出かせぎ者のみなさんはぜひご利用ください。

記

・出発期日 52年1月8日(9日着)

・発車時刻(各バス停留所)

舟木発	14時30分
大琴発	14時35分
蔵発	14時40分
老方発	14時45分
玉米発	15時00分
田代発	15時20分
黒淵発	15時30分

上野着(9日) 6時30分
乗車料金 五、七〇〇円
申込期日 12月末まで、役場

出稼相談所へ

※ 一度申し込んだものは、取り消ししないでください。なお、料金は52年1月5日・6日両日中に稼稼相談所へ納入してくださいようお願いいたします。

善意

田代寿行さん(大内町)から、亡父の香典返しにかえ、町有施設と福祉のために使ってほしいとして、金一封を町に届けられた。

交通事故をなくし 明るい年末年始を！

飲んで乗るあなたは天国家族は地ごく

自転車もとまって確認街の角

ゆとりで走ろう

